

**2023年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会
兼 第20回 JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN北海道
オホーツク地区予選大会
開催要項**

名称

2023年度 全道少年(U-12)8人制サッカー大会
兼 第20回 JA全農杯全国小学生選抜サッカー IN北海道 オホーツク地区予選大会

主催

オホーツク地区サッカー協会第4種委員会

主管

遠軽サッカー協会

開催日

2022年10月1日(土)、2日(日)

会場

えんがる球技場(紋別郡遠軽町福路2丁目)

組合せ

- (1) 抽選日 2022年9月17日(土)
- (2) 第4種委員長立合いのもと、事務局で厳正に抽選し結果を参加チームへ通知する。

開会式

実施しない

参加資格

- (1) 「参加チーム」は大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
- (2) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録の小学5年生以下の選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
- (3) 第4種年代の女子選手については(クラブ申請を承認された)同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。
- (4) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、内1名以上が(公財)日本サッカー協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。
- (5) 「参加選手」は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
- (6) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。

大会形式

- (1) 参加チームによる予選リーグ、決勝トーナメント戦を行う。(参加チーム数により変更の場合あり)
- (2) 予選リーグでは、勝点(勝-3、引分-1、負-0)、得失点差、総得点、当該チームでの対戦結果により順位を決定する。それでも同率の場合は、リーグ戦終了後ペナルティキック方式により決定する。
- (3) 規定の時間内に勝敗が決しない場合は、予選リーグでは引き分けとする。決勝トーナメントでは3人ずつのPK方式で勝者となるチームを決定する。決勝では3分-3分の延長戦を行い、なお決しないときは3人ずつのPK方式で勝者となるチームを決定する。
- (4) 大会2日目は決勝トーナメントの他に、決勝トーナメントに出場しないチーム同士による順位リーグを行う(審判は必ず審判服を着用のこと)。

競技規則

(公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

- (1) 競技のフィールド
 - フィールドの表面は、人工芝とする。
 - サイズは以下のとおりとする。
 - フィールドの大きさ:長さ(タッチライン)68m×幅(ゴールライン)50m
 - ペナルティーエリア:12m
 - ペナルティーマーク:8m
 - ペナルティーアークの半径:7m
 - ゴールエリア:4m
 - センターサークルの半径:7m
- (2) ボール
 - 試合球は少年用4号球を使用(地区協会 で用意)する。
- (3) 選手の交代
 - ・競技者の数は、常に8人(うち1人はGK)とする。
 - ・原則、選手全員が1ピリオドを通じて出場する。
(※ 別添の、選手出場に関するルール確認を参照してください。)
 - ・第1ピリオド出場予定の8人、第2ピリオド出場予定の8人と、その他交代要員を予め明確にする。
 - ・交代要員含め同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオド全てに出場することはできない。事故・ケガ等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が11人以下になったときに限り、1試合で3つのピリオドに出場することを認める。(延長戦はピリオドの数に含まない)
 - ① 第1ピリオド
 - ・予め決められた、第1ピリオド出場予定選手が出場する。
 - ・試合中の、事故・けがで交代する場合は、交代要員が出場する。(交代要員:提出したメンバー表に出場印がついていない選手)
 - ・交代選手全員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第2ピリオド出場予定の選手が出場できる。
 - ・交代して退いた選手は、再び出場できない。(=自由な交代ではない)
 - ② 第2ピリオド
 - ・予め決められた、第2ピリオド出場予定選手が出場する。
 - ・試合中の、事故・けがで交代する場合は、交代要員が出場する。第1ピリオドで交代して出場していても出場はできる。
 - ・交代選手全員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第1ピリオド出場予定の選手が出場できる。
 - ・交代して退いた選手は、再び出場できない。(=自由な交代ではない)

③ 第3ピリオド

- ・第1・第2の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員含め誰でも出場できる。
- ・何回・何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)

④ 延長戦

- ・交代要員含め誰でも出場できる。
- ・何回・何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)

(4) 交代の手続

- ①交代して退く選手は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
- ②交代して出場する選手は、退く選手が外に出た後、交代ゾーンからフィールドに入る。
- ③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。ただし、交代で退く選手が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- ④交代は、主審、副審、第4の審判員の承認を得る必要はない。
- ⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。

(5) ベンチに入ることができる人数:最大選手12名・指導者4名。なお、1名以上が(公財)日本サッカー協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。

(6) 審判員

1人の主審と2人の副審及び1人の第4の審判員が指名される。

(7) テクニカルエリア

設置する。テクニカルエリアにいる監督または指導者が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に、再度異議を示した時は、主審の判断により退場処分とし、それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。

(8) 競技者の用具・ユニフォーム・シューズ

- ①本競技会に登録した1着以上のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない。(2着以上の持参が好ましい。)
- ②ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる(ビブス等も可)。
- ③ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
- ④主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。
- ⑤ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑥アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑦アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑧シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- ⑨選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑩すね当ての着用を義務付ける。
- ⑪スパイクシューズは危険を避けるため、取替えポイントでないものとする。

(9) 試合時間

- ①36分(12分-12分-5分-12分 3ピリオド)とする。
- ②インターバル(ピリオド間)は、第1ピリオドと第2ピリオド間は選手交代に要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は、5分とする。

③規定の試合時間内に勝敗が決しない場合

予選リーグ:引き分けとする。

決勝トーナメント:ペナルティキック方式。なお、決勝戦では6分(3分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合は試合終了時に出場している3選手によるPK方式で勝者を決定する。

延長戦に入る前のインターバル:原則5分間

ペナルティキック方式に入る前のインターバル:原則1分間

- ④アディショナルタイムの表示:行う

- (10) 負傷者の対応
主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。
- (11) 飲水タイム
暑熱下において、前後半中ほどに飲水タイムを採用する。飲水タイムの適用は、各試合前に大会本部が決定し、全てのピッチで適用する。飲水タイムは60秒を超えてはならない。その他の対応については、JFAより通達されている「熱中症対策ガイドライン」によるものとする。
- (12) 登録選手証
出場チームは(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。但し、写真添付により、顔の確認ができるものであること。
※「選手証」とは、WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものを、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
- (13) 選手証の確認
会場到着後、各チーム毎に本部にて行う。
※「選手証の確認」とは、上記(12)で示した登録証と選手本人を照合するものである。

懲罰

- (1) 本大会規律委員会の委員長は第4種委員長が務め、委員は副委員長・事務局長・審判委員長とする。
- (2) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については大会規律委員会において決定する。
- (3) 本大会期間中において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の措置については大会規律委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合、当該チームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (4) (公財)日本サッカー協会規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

表彰

- (1) 優勝チームには、表彰状とトロフィーを授与する。
- (2) 準優勝チームには、表彰状とトロフィーを授与する。
- (3) 第3位のチームには、表彰状と盾を授与する。
- (4) 本大会の優勝チームは、全道大会への出場を義務付ける。
※2023年4月●●日(土)～●●日(日) 開催地区未定

代表者・審判員会議

2022年10月1日(土) 午前8時15分～

- (1) 当日の試合開始前に行われる会議には、大会事務局より配信される書面内容を確認の上、持参し参加すること。
- (2) 当日の試合終了後に行われる反省会には、各チーム1名は必ず参加し、チーム内の事故報告及び試合結果の確認をすること。万一参加できない場合は、会場責任者へ申し出ること。

閉会式

2022年10月2日(日) 午後4時00分～(予定)

※成績上位4チームは必ず出席すること。

大会開始

2022年10月1日(土) 午前9時30分～

帯同審判

出場チームは大会期間中、以下のとおり(公財)日本サッカー協会公認審判員を必ず帯同させること。

- (1) 2日間共に、3級以上1名、4級以上1名の計2名以上
- (2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたる。
- (3) 審判員を帯同できない場合は、不帯同料として1日につき1名当たり5,000円を参加料と同時に納入すること。

参加料

大会参加料 8,000円 大会当日受付時に納めること。

参加申込

- (1) 参加チームは所定の様式をEメールで大会事務局まで申し込むこと。
- (2) 参加申込
 - ①1次申込: 2022年9月7日(水) 午後7時まで(大会参加の有・無)
 - ②2次申込: 2022年9月15日(木) 午後7時まで(メンバー表の提出)
- (3) 1団体からの複数チームの登録は認める。ただし、それぞれのチームに有資格者・帯同審判員がいて責任をもって大会運営に協力できること。
- (4) 大会不参加のチームは、期日までにその旨を大会事務局に報告すること。

【申込先】 オホーツク地区サッカー協会
第4種委員会事務局
担当 松村 圭悟 (遠軽はやぶさサッカースポーツ少年団)

その他

- (1) 本競技会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とミーティングを実施する。
- (2) メンバー用紙については、各チームにおいて事務局から送付された自チームのメンバー用紙3枚1組を1部として試合数分の部数を印刷し、試合開始15分前迄に1部提出すること。
- (3) 各チームともスポーツ傷害保険に加入すること。
- (4) ゴミ等は、各チームで責任をもって持ち帰ること。
- (5) 路上駐車及び駐車場の通路への駐車は厳禁とする。
- (6) 駐車場の空きスペースへ場所取りのための椅子等を置く行為を発見した場合は、4種委員会で撤去する。
- (7) 参加選手の持物については氏名とチーム名を記入し、忘れ物がないように周知・徹底すること。
- (8) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、本大会事務局において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
- (9) 試合中、当該チーム以外のピッチ内の使用は認めない。
- (10) 試合前後の空き時間を利用したピッチ内の使用は認めない。ただし、キックオフまでの時間に余裕があり、当該試合の審判団がピッチの使用を認めた場合は、この限りではない。
- (11) 「受動喫煙防止法」により、喫煙場所が指定されていない場所での喫煙は原則認めない。
- (12) 本競技会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とミーティングを実施する。
- (13) 各チームの会場入りは、試合開始前1時間30分からとする。

例) 11時kickoffの場合、会場入りは9時30分から。
- (14) 有観客の場合の観戦エリアは、タッチライン横のみとし、他の場所からの観戦は認めない。
- (15) 身障者駐車場の並びの駐車場所は指導者駐車場とする。